

2022年度 和泉短期大学 シラバス【専攻科】

授業科目名	生活と社会福祉		教員氏名	佐久間志保子	
科目コード	II-4-5-1				
学年	専攻科		開講学期	後期	
授業形態	講義		単位数	1単位	
必修・選択	専攻科		実務経験	社会福祉士	21年
授業の目的	介護職が利用者を支援する上での必要な社会保障制度の基本的な知識を学ぶ。制度を通して、多職種連携に向けてチームマネジメントの基礎的な知識を理解する。				
ディプロマポリシー	1. 保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2. 保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○
	3. 保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	高齢者・障がいのある人を取り巻く環境を知り、様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につけることができる科目			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	社会保障制度を理解することで、私たちの日々の生活とどのように関連づけられているかを学ぶ。また、生活を支える財源である年金制度、生活困窮者が利用する生活保護、失業対策の雇用保険など生活に密着している内容を理解することで、より高齢者や障がいの方のサービス理解につながる。				
授業の到達目標	1. <u>社会と生活のしくみを理解することができる</u>				
	2. <u>社会保障制度を理解し、地域や社会のニーズを説明できる</u>				
	3. <u>社会保障制度を通してチームで働く力を養うためのチームマネジメントを理解できる</u>				
テキスト	「2 社会の理解」介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規 「介護福祉士国家試験 受験ワークブック2023 下」介護福祉士国家試験受験ワークブック編集委員会 中央法規				
参考書	なし				
ポートフォリオ	なし				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				
	その他: コマシラバスの活用				○
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題 参加度 出席態度等	80	授業内にて実施する確認テスト60%、授業への取組み20%		
	その他	20	レポート		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	<u>地域包括システムの自助・互助・共助・公助を理解する</u>	
	授業外学習	<復習>地域包括システムの自助・互助・共助・公助の課題に取り組む	210分
第2回	テーマ 内容	<u>社会保障制度の基本的な考え方と仕組みを理解する</u>	
	授業外指示	<予習>社会保障とは何かを整理し、社会保障の現状や課題に取り組む	210分
第3回	テーマ 内容	<u>介護保険制度、年金保険や医療保険制度、雇用保険を理解する</u>	
	授業外指示	<予習> <u>介護保険制度、年金保険や医療保険制度、雇用保険の課題</u> に取り組む	210分
第4回	テーマ 内容	労災保険、社会手当、生活困窮者支援、生活保護制度を理解する	
	授業外指示	<予習>労災保険、社会手当、生活困窮者支援、生活保護制度の課題に取り組む	210分
第5回	テーマ 内容	障害者福祉制度の基本的な考え方を理解する	
	授業外指示	<予習>障害者福祉制度の基本的な考え方課題に取り組む	210分
第6回	テーマ 内容	障害者総合支援法の内容等を理解する	
	授業外指示	<予習>障害者総合支援法の内容等の課題に取り組む	210分
第7回	テーマ 内容	<u>介護実践に関連する権利擁護や個人情報保護を理解する</u>	
	授業外指示	<予習> <u>介護実践に関連する権利擁護や個人情報保護の課題</u> に取り組む	210分

課題に対するフィードバックの方法

1コマずつのコマシラバスを作成し、課題に取り組む。学生の成果と課題を可視化